

光 陵

都立光丘高校
同窓会だより第 11 号
2022年8月 1 日発行
編集・発行
東京都立光丘
高等学校同窓会
発行責任者
木田明男
〒179-0071
東京都練馬区
旭町二丁目 1 番 35 号
電話 03-3977-1501

会長挨拶

同窓会長 木田明男(第二期生)

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。

このたび、東京都立光丘高等学校同窓会会長に就任しました木田明男でございます。誠心誠意同窓会や母校の発展のため頑張る所存です。何卒格別なるご支援、ご協力を賜わりますよう、よろしくお願い申し上げます。

本校は昭和五年四月に開校しましたが、四月の新学期開始時にはまだ校舎が完成しておらず、一期生は四月から十一月下旬まで、世田谷工業高校の閉鎖された旧付属中学校校舎を仮校舎として授業を行っていました。練馬から二時間近くかけて登校していた生徒もいたそうです。

私は昭和五二年入学の二期生ですので、校舎こそ完成していましたが、入学式は一階のピロティで行いました。体育館やプールも無く、校庭も未整備で体育の時間に石拾いをしたり、整地をしたりしました。体育祭は城北

中央公園で行い、文化祭は豊島公会堂での実施でした。当時の光が丘は、「米軍居住地区グランドハイツ(旧・日本陸軍成増飛行場)」の状態が開発が始まる前のため、光が丘公園や団地の造成さえもされておらず、付近には本校の校舎を除くと三階建て以上の建造物は皆無に等しい状態でした。

まさに学校の創設期で教職員も生徒も保護者もみんなで学校を創造していこうとする気魄と信愛に満ちた時期でした。

さて、光丘高等学校同窓会は、長い歴史の中で運営の仕方や会の在り方、若い人達と同窓会離れなど幾つかの課題を抱えながら会の運営が続けられていた現状です。これらの課題を会員各位から知恵をいただき、少しでも同窓会活動が活性化され、幅広い世代にも多数参加していただける様な「和やかな同窓会」にしたいと思っております。これまでホームページの作成や総会、役員会の在り方など同窓会の運営方法の見直しを進めてきました。この流れを絶やさず今後も同窓生のコミ

ュニティの輪を広げるための同窓会となるべく運営してまいりたいと考えております。そして、日々学校生活を頑張っている後輩たちを同窓会として応援していきたいと考えております。どうぞ会員の皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

なお、本会では、十年ごとに同窓会総会を開催しております。同窓生との交流の機会として、大切なものとして位置づけております。次回は令和 7 年頃に開催予定です。どのような形での開催がよいかなどアイデア、プランをお寄せください。

また、同窓会のコミュニティの輪を広げるためにホームページを活用したいと考えております。ご覧になられた会員の方は、ぜひ、同級生・先輩・後輩のお知り合いにも広めてください。同窓会へのご提案・ご要望などございましたら事務局までご意見をお寄せください。皆様のご意見を参考に、同窓会をさらに充実させていきたいと考えております。今後とも同窓生の皆さんは勿論のこと、学校・PTA 等関係の皆様方にも、今までと同様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

補職人事

令和三年度の新役員選出について次の通り補職人事を行った。

会長 木田明男、副会長 岡田知久、加藤竜吾、書記 小田 傑、HR 担当 長瀬信弘、星野 元

校長挨拶

名誉会長 瀧本秀人(現校長)

卒業生のみなさま、初めてご挨拶をさせていただきます。このたび第十五代校長として、令和四年四月一日に着任しました。どうぞ、よろしく願います。

校長としては二校目となります。前任校は都立向丘高等学校で、本校とは一字違いの学校でした。なにやら縁を感じると共に、言い間違えないようしなければと心配しております。

光丘高校は緑豊かな光が丘公園に隣接しており、非常に環境豊かな立地であり、近年落ち着いた雰囲気のある学校として、地域からも評価を得ています。

コロナ禍の下、学校の教育活動にはどの学校も苦心しています。多くの学校行事が中止や制限を受け、光丘高校の自慢の部活動も思うようにはいかない状況です。しかし、皆さんのことを諦め続けるわけにはいきません。感染防止を行いながら、やれることはやっつけていく、そんな気構えでいきたいと考えます。同窓会の皆さまには、今後とも、ぜひ、母校のために、ご尽力いただきたく、お願い申し上げます。

会務報告

令和三年度第一回(通算五六回)常任委員会議事要旨

事業報告

一 令和二年度第二回常任委員会報告
二 第四三回卒業式予行への参加の報告
役員で対応。卒業生全員加入。

三 会計報告(一般会計 及び 特別会計)
/ 会計監査報告

配付資料と通帳により監査が確認。
議事

一 令和三年度事業計画案について
文化祭の参加、在校生への支援、同窓会ホームページ、同窓会報(第十号)の作成、令和三年度卒業生への対応

以上、運営方針について確認した。

二 令和三年度予算について
一般会計予算、特別会計予算

以上のとおり確認された。

三 文化祭参加について
企画書の確認、文化祭当日の対応

企画について、飛田副校長先生経由で生活指導に企画書・パンフ原稿を提出した。なお、コロナ対応で変更となる場合は、別途対応する。

四 在校生への支援
令和三年度の計画について、その他の支援

横断幕は演劇部と大会第二位で上位大会

について

へ進出することとなったため、執行することとした。マスコットキャラクター表彰費用について、ひかる君(仮称)について、必要な範囲内での賞状・記念品の支援をすることにした。

五 同窓会ホームページについて
同窓会ネットとの継続契約解除と新規委託先について、同窓会ホームページ更新内容の確認、今後の方針

同窓会ネットの廃業に伴い、検討していた新たな対応先の推薦について、複数の委託業者案の提案が木田副会長があつた。同窓会関係業者は今後の社会情勢での心配、大手は予算上合わないことなどがあり、当面残されている窓口は年度末までに検討することとした。なお、専門業者で年間十数万円程度での維持を進めていくことを確認した。

六 同窓会会報について
第十号の提案について、ホームページにアップをして新業者が決定後、提供することを確認した。

七 令和三年度卒業生への対応について
卒業生への卒業記念品の贈呈について、第三学年の意向と経営企画室と調整を図り、例年通り対応することとした。

八 新役員選出について補職人事を行った。

令和三年度第二回(通算五七回)常任委員

議事要旨

事業報告

一 令和三年度第一回常任委員会報告
 二 第四五回光陵祭参加
 新型コロナウイルス感染症対策のため
 内部のみで同窓会参加は中止となった。
 議事

一 第四四期卒業生への同窓会入会説明
 二 卒業生への卒業記念品の贈呈について
 卒業証書ホルダー(名入れ)、その他
 三 同窓会からの在校生への支援について
 月桂樹支援対応：今年度はしていない。
 横断幕について：演劇部について対応済み。
 ・マスコミトキヤラクター表彰費用につい
 て：特に要請なし。

四 同窓会会報について
 同窓会会報(第十号)PDF化完了
 五 同窓会ホームページについて

「株式会社エイチ・ツー・オー」との進行
 状況(富士電機祖ルーションは確認だけ)
 ・HPのリニューアル状況、費用につ
 いて確認された。

六 同窓会事務局業務の定例化について
 次年度から連絡体制の月
 に2回・各半日程度、母校
 で事務局業務対応をする。
 七 同窓会常任委員会等に
 係る交通費について
 遠方の役員に対する定額
 加算をする。
 (文責・加藤竜吾)
 写真は田柄高校校長室での常任委員会風景



事務局の移転と常駐化について

東京都立光丘高等学校同窓会事務局は、前
 年度東京都立田柄高等学校内に置いていま
 したがこれを廃止し、当面の間、月に一回程
 度金曜日午前中を中心に母校内での対応を
 することにしました。お問い合わせ、次の通
 りよろしくお願いいたします。
 〒一七九〇〇七一
 東京都練馬区旭町二丁目一番三五号
 東京都立光丘高等学校同窓会事務局
 電話〇三(三二九七七)一五〇一

2022年度
 第46回光陵祭は
 2022年
 9月16日(金)～9月17日(土)
 [一般公開は二日目のみ]
 に予定されていますが、新型コロナウイルス対策の関係で実
 施の有無等の詳細は高校のHPをご覧ください。

2022年度 人事異動

転退者		転出校(課程)	転入者		前任校(課程)
校長	尾崎 肇	指導部・主任指導主事	校長	瀧本 秀人	向丘高・長
国語	村田 優	練馬高	国語	濱上 圭子	大泉桜高
国語	土岐 統子	退職	公民(政)	赤嶺 道代	目黒七中
国語	家田 幸治	退職	数学	池田 恵子	豊島高
公民(政)	佐藤 康史	足立新田高	理科(物)	橋本 洋一郎	三宅高
数学	松井 寛	農芸高	理科(化)	布施 美那	新規採用
数学	岡田 貴志	調布南高	家庭	伊藤 信子	新宿山吹高
理科(物)	松本 大輝	科学技術高	英語	中村 信明	桜修館中教校
理科(化)	筒井 浩一	東久留米総合高・定	英語	井上 浩	桐ヶ丘高・定
家庭	岡本 香織	忍岡高	英語	小野 陽子	新規採用
英語	磯部 篤	武蔵丘高	***	*****	*****
英語	和田 秀幹	退職	***	*****	*****
室長	北林 貴江	武蔵丘高・室長	室長	小川 桂子	井草高・室長
司書	下山 敬子	退職	司書	田中 繁水	高島高
経企室	加藤 洋子	退職	経企室	佐竹 多恵	大泉高